

総合的な学習の時間「日本文化研究」

高校3年生で履修する、総合的な学習の時間・国語「日本文化研究」にて、とうとう「おがわ学」関連の授業を開始しました！地域資源や人材を活用しながら、生徒たちが自分で課題を発見できるようになることを目指します。

日本文化研究での提出物

自分でテーマ・課題を決めて、原稿用紙15枚以上のレポートを作成しよう！！

毎年、日本文化研究では上記のようにレポートを成果物としています。今年度は、ただ調べたことをまとめるのではなく、是非自分で何か問題や疑問を見つけ、仮説を立て、それを検証するような形式のレポートにしてほしいと考えていました。

そのため、9月中旬から10月中旬にかけて、全12時間で小川町と関係の深い「万葉集」をテーマに、みんなで学び、みんなでまとめ、みんなで疑問を出し合う授業を目指します。

授業予定は以下の通りです。(すでに済んでいる授業も多いです……)

9月17日(火) 2限	「万葉集」についての基礎知識確認
9月18日(水) 5、6限	パソコン室を利用し、「万葉集」について調べる
9月25日(水) 2限	調べたことについて、グループでまとめる(1時間目)
9月30日(月) 2限	調べたことについて、グループでまとめる(2時間目)
10月 2日(水) 5限	小川町図書館にて「万葉集」について調べる
6限	小川町図書館にて小川図書館長・新田文子氏の講演会
10月 7日(月) 2限	個人で今までの疑問点まとめ
10月 9日(水) 5、6限	小川町をフィールドワーク！
10月16日(水) 5、6限	出てきたすべての情報をグループでまとめ、発表



日本文化研究を履修しているのは全部で25人。最初は「万葉集！？」と不安げであった生徒も、グループごとに調べ学習をすると、「わかったこと」と「疑問に思ったこと」が次々と出てくるようになりました。

現在のまとめでは、グループごとに「わかったこと」を付箋で模造紙に貼っているのですが、それを眺めてお互いに「○○ってどういうこと？」「どうして○○なんだろう？」と積極的に疑問をだしあっている姿も見られました。

中には、気づいてほしいなあと思っていた「万葉集」と「小川町」の関係に勤付している生徒もいる様子……。

次回はとうとう、「万葉集」という作品が読めるようになったことに小川町が関係している、という話に移る予定です。今まで名前くらいしか知らなかった作品が、自分の身近な場所と関係している、ということに面白さを感じてくれればいいのですが……。

外に出る授業も多いですが、お時間がありましたら是非授業をご覧になってください！